

広島市植物公園 見どころ案内



2026 年 7 月 20 日
通巻第 107 号

展示会のご案内

①展示資料館 (7/18~9/9)

未来の植物園をつくろう

②展示温室 (7/18~8/16)

世界の食虫植物展

オミナエシ (スイカズラ科)

秋の七草の一つで、万葉集にも登場する植物です。黄色い小花を房状に咲かせます。**独特の醤油が腐ったような匂いを持つ**ことから、「敗醤 (はいしょう)」とも呼ばれます。花には、美しい青いハチとして有名な「ルリモンハナバチ」が吸蜜に訪れることがあります。

ツルラン

(ラン科)

日本の九州南部以南に自生するエビネの仲間です。

白く美しい花が多数集まって咲く様子が、まるで鶴の群れが舞っているように見えることから、その名が付けられました。

ルリマツリ

アガパンサス イナベルタス

カノコユリの品種

おもちゃカボチャ

(ウリ科)

観賞用のカボチャです。様々な形のカボチャをトンネルの中で見ることができます。

ベゴニア

センノウ (ナデシコ科)

紅色の花を咲かせています。室町から江戸時代にかけて盛んに栽培され、特に**七夕には生け花や贈り物**として珍重されていました。

ヒマワリ

‘サンフィニティ’

(キク科)

約 1,400 株のヒマワリ

が広場を埋め尽くしています。フォトスポットにおすすめです。

パイナップルリリー

(キジカクシ科)

上部から苞葉が出る花序形態のため、茎からパイナップルが出ているように見えることが名前の由来です。

★大温室で見頃の花・実 アンズリウム、スパティフィラム、シュロガヤツリ、ナンヨウザクラ、ブーゲンビレア、洋ラン各種、パニア、カカオ (実も)、トーチジンジャー、ゴレンシ、アセロラ、[マンゴー、ホワイトサボテ、ジャボチカバ、バナナ各種、ココヤシ、パパイヤ、レンブ、オオミノトケイソウ、キミノパンジロウ、ソーセイジノキ (花も)、コーヒートノキ、カブダチクジャクヤシ (以上は実)]、ハイビスカス、ヤコウボク、フッソウゲ、パボニア グレヒリー、アリアケカズラ、ヒメアリアケカズラ、ヤエサンユウカ

✿7月~9月は熱中症対策のため、ガイドボランティアによるガイド中止しています✿

✿7/21、8/1、8/25 午前 11 時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ✿